

飛べ！僕らの夢をのせて！！

NASAが八月に火星から飛来したいん石から、「生命体が存在した可能性がある」ことを明らかにした。地球外生命の存在に結び付く大きな発表だった。また、この頃のテレビ番組でも「MMR」とか「X-ファイル」に見られるように宇宙への関心が高まっている。地球外生命体は存在するのだろうか？ 時を同じくしてこの度、河辺小学校で、ペットボトルロケットの作成及び打ち上げが行なわれた。小学六年生が取り組んだもので、各自一機ずつを作成。皆それぞれ飛ばす前は「飛んでー。」という期待と「飛ばなかったら？」という不安で、ドキドキとワクワクが入り乱れた様子だった。結果は、体育館下グラウンドの隅から反対側の橋を飛び越えるもの四機を数え、皆満足した様子だった。

果たして、将来私達はこのロケットのように実際にロケットに乗って宇宙を旅し、地球外生命体と友好を結ぶことができるのだろうか。今後の科学の発展に期待したい。



'96 11月

発行
河辺村公民館

☎ (0893) 39-2111
内線 205・206

佐川印刷 KK
吉田町北小路
☎ (0895) 52-0600

人のうごき

(平成8年11月1日現在)
世帯数 545戸
男子 716人
女子 729人
計 1,445人

| | |
|----------|--------------|
| H7.11.1現 | 1,482 (△37) |
| H6.11.1現 | 1,553 (△108) |
| H5.11.1現 | 1,561 (△116) |
| H4.11.1現 | 1,619 (△174) |
| H3.11.1現 | 1,692 (△247) |



やねばし

十月二十六日、春日神社例祭。御輿守りの役が十五年ぶりにまわってきた。

朝出がけに老妻が、「今日はしっかり背筋を伸ばして若々しく・・・」と励ましてくれた。

言われるまでもなく私も「今日はやるぞ、又と担げる御輿ではない」と悲壮な程に張り切っていた。

しかし、担いでみると御輿は今までになく重い。おそろく何百キロもあるのだろう。大方はトラックで運ぶが集落に着くと肩に担ぐ。今更に七十を越えた齢を感じる。八人の御輿守りはみな若くて、私だけが老人で皆が労わって下さる。

植松・出合・日の平・大成と巡行する。軒先に出てお賽銭を投げ拜んで下さる氏子の方々の敬虔な眼差しが印象に残る。

御祝儀と共に頂く湯呑の酒が次第にほろ酔いとなり、吹く秋風が快よい。紅葉を始めた四方の山々を眺めながら、御輿の車は走る。

若きりに混りて担ぐ御輿われ 高き階気負いて登る

(戸田)

マツハ先生河辺に来たる!!

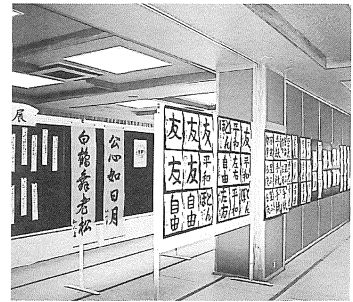
十一月四日、健康文化フェスティバル（実行委員会・大野喜久雄実行委員長）が役場前、公民館、しいたけ共選場、老人福祉センターにおいて開催され、多彩な催し物に、大勢の人でにぎわった。

公民館では、文化協会発表会、お楽しみ抽選会につき、午後一時十分より健康づくり講演会が行なわれた。実行委員長のあいさつの後、国保世帯のうち、平成七年中、医療機関無受診世帯の表彰が行なわれ、植木スエミ氏外九名の方々に、表彰状と、記念品がおくられた。続いて、屋根付橋フォトコンテストの表彰式が行なわれ、見事グランプリに輝いた（「濁流にかかる橋」三嶋橋）野間義長氏外十九名にトロフィー及び楯、賞金がおくられた。

一時三十分から、大変おま



カッコイイ女性の方でした



たせ、会場も立ち見が出る程タレントマツハ文朱先生の「マツハ流エンジョイ健康法」と題した講演が行なわれた。講演では、①一日一万歩以上歩くこと ②いろんなものをバランスよく取ること ③物はよくかんで食べること ④毎朝コップ二杯の水を飲むこと等の話に加え、指の運動もあり、笑いがあつたりの終始なごやかな講演会だった。

役場前の青空市と並んで公民館前では、例年公民館内で行なわれていた婦人会のバザーが行なわれ、大勢の人でにぎわい、熱いうどん、おでん等をおいしく頂くことができた。又、福祉センターでは、骨粗しょう症検診、歯科健診、体内脂肪測定等と幼・小・中・一般の方の作品展があり、力作ぞろいの見ごたえのある作品前にたたずむ光景も

見られた。そして、フェスティバルのファイナレはくじ付もちまきで終了した。たくさんの方のご来場ありがとうございました。なお、当日行なわれた、農作物品評会の入賞者は次のとおりです。おめでとございました。

河辺村長賞

山本 明 乾しいたけ

肱川地区林材業振興会議会長賞

細井謙太郎 乾しいたけ

河辺村議会議長賞

菊池 稔 インゲン

河辺村森林組合長賞

安藤 国康 乾しいたけ

川上商工会長賞

新 満夫 ゆず

大洲農協河辺支所長賞

稲田 秀一 とまと

金賞

宮岡 輝昭 生しいたけ

銀賞

請田 奨 くり

銅賞

城戸 秀寿 乾しいたけ

和気 満 こんにゃく芋

塚野キヨ子 大根

片山 寛 生しいたけ

谷本 幸徳 キウイ

久保 照子 小豆

高橋ミツル 二度豆

長岡美代子 ごぼう

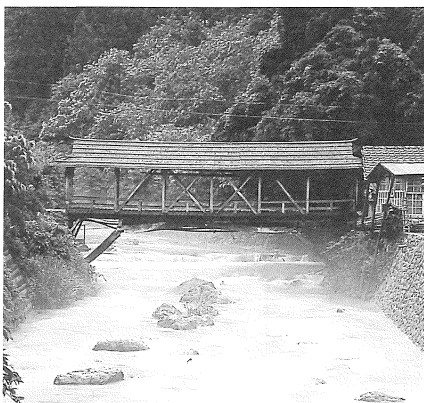
特別賞

新 義信 松茸

屋根橋フォトコンに 313 点!

村内にある六つの屋根付橋をテーマに「屋根付橋フォトコンテスト」を実施したところ、県内外から八十九名、作品総数三百十三点の応募がありました。

十月十二日に基幹集落センターで審査会があり、「わがマディソン郡の橋」など数多くの写真集を出版している写真家栗原達男氏を審査委員長にグランプリから佳作まで三十七点を選びました。最優秀のグランプリには、今治市の野間義長さんの「濁流にかかる橋」を選び、「大雨で増水した三嶋橋を長焦点レンズで撮影し構図、色調も申し分ない。濁流の中の石と草、音も聞こえてくる感じで、リアルでありながら幻想的であり味わい深い作品」と評価され



これは「三嶋橋」です

ました。他の主な入賞者は次の皆さんです。

《準グランプリ》井上理香

(伊予市) 梅木良照 (河辺村)

竹本賢一 (川西市)

《優秀賞》米沢よしひろ

(小田町) 佐々木政明 (保内町)

越智幸男 (宇和島市) 向井健敏 (松山市) 松村秋廣

(八幡浜市) 武内久和 (八幡浜市)

《入賞》坂東鞞彦 (今治市) 乗松賢二 (松山市)

日永潤作 (京都市) 倉田宏

郎 (宝塚市) 大関好夫 (保内町)

水内順一 (八幡浜市) 作

間清 (伊予市) 小林平一郎

(今治市) 福本満 (伊予市)

藤井悟 (松山市)

Ⅱ審査委員長の総評Ⅱ

アメリカの屋根付橋へは、四度もいきましたが、あちらの橋は側面も板塀になっていて、ファンタジックさでは上ですが、生活感からすると河

辺村の屋根付橋の方が上です。写真にも明確にあらわれています。四季を通じての写真が、それもレベルの高いものが集まり審査に苦労しました。思っていた以上にハイレベルの写真が応募され審査員として嬉しい限りです。

連れ添って50年

お元気で」とお祝いの言葉が述べられ、記念品の贈呈があり、最後に金婚者を代表して清水孝さんより謝辞があり式典を終了しました。

去る十月十九日ふるさとの宿において結婚歴五十年のご夫婦をご案内して金婚祝賀会がありました。当日は、九組のうち八組のご出席をいただき、大野村長はじめ来賓者から「いつまでも

- | | |
|-----|-----------|
| 下大成 | 森川 猶衛 綾子 |
| 日除 | 清水 孝 菊江 |
| 百合谷 | 中村 安兼 ハル子 |
| 名場連 | 池田 逸郎 ハルカ |
| 大中山 | 河本 春義 キヨカ |
| 〃 | 安田 英雄 アヤ子 |
| 神納 | 山本三木三 喜代子 |
| 長崎 | 兼本 清重 マサミ |
| 〃 | 梅木 広信 マチエ |



いつまでも二人でお幸せに！

教育長就任のごあいさつ

教育長 加茂 一司



さる十月二十一日付けをもちまして、前梅木教育長の後任として、不肖私が教育長を拝命いたしました。

誠にありがたく、光栄に存じますと共に、職責の重大さを痛感しております。

私は、教育行政につきましても、全くの素人であり一抹の不安を感じておりますが、最善の努力をして、いじめ対策をはじめ、教育改革や同和教育の推進など、山積する諸問題と取り組み、二十一世紀を目前に控え、心豊かで逞しい人づくりを最大の課題とし

て、関係機関との連携を深め地域に根ざした教育の推進を、まことに微力ではございますが、全身全霊を傾注して重責を果たすべく決意をいたしました。

どうか村民各位の暖かいご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。終りに村民の皆様は今後ますますのご健勝、ご多幸をご祈念いたします。就任のごあいさつといたします。

河小児童交通安全に一役

「締めましょう 心もベルトも しつかりと」をスローガンに、秋の全国交通安全運動が九月二十一〜三十日の十日間行われました。村では、運動期間中に交通安全屋及び交通安全鼓笛パレードを実施いたしました。交通安全鼓笛パレードでは、河辺小学校児童七十名の参加により、役場前から富永建設(株)までを往復し交通安全意識の高揚と村民への交通安全を呼びかけました。

最近の事故の特徴は、スピードの出し過ぎによる事故。前方不注意による事故。飲酒運転による事故。夜間、お年寄りが歩行中にはねられる事

故が挙げられます。運動期間は終わりましたが、これからも運転者、歩行者の皆さん一人ひとりが、正しいルールとマナーで交通事故のない、明るく安全な地域づくりに努めましょう。



交通安全してますか？

車に乗ったら「カチッ」と、シートベルト

シートベルトは正しく着用しましょう！



*肩ベルトは、肩からはずれず首に当たらず、胸の中央付近に来るように締める。

*ベルトはねじれないように。

*肩ベルトをあまり固く締めるとシートに深く座り過ぎる。

*腰ベルトが腹に当たらないように背盤を巻くようにしっかりと締める。

*後席座席は2点式ベルトの場合は、シートに深く座り掛けてベルトで背盤を巻くようにする。

*バックルはカチッと音がするまで確実に締める。

さがそうよ一人ひとりのいいところ

平成八年度 河
辺人権のつどいが、
菊の香かおる十一
月六日、河辺小学
校を主会場として、
二五八名の参加者
のもと盛大に開催
されました。

午前中は、小・
中学校共に公開授
業が行われ、その
後学年別懇談会が
持たれましたが、
和やかな雰囲気
に包まれた中で、腹
藏のない意見が交
されました。

午後は小学校の
体育館で全体会が行われまし
た。

開会式に引き続いて、小学校
三年生梅木孝之さんの、「自
分の心の中にある悪い心を、
努力して直していききたい。」
そして、五年生和気千尋さん
は、「過ちを犯したら謝る勇
気を養っていききたい。」続い
て中学校三年生の国井悟さん
が、「戦争は人権侵害の最た
るもの、真の平和とは、人々
が全て自由であり平等である
ことである。」同じく三年生
の武田恵子さんは、「差別を
なくするためには、勇気・思

いやり・暖かい心を養ってい
かねばならない。」と、人権
作文が発表されました。続い
てPTA代表として塚野幸恵
さんが、「子どもは周囲の
様々な影響を受けて成長する
が、親の影響が最も大である。
従って、親は子育てを通して
常に反省し前進、成長して子
どもに安心感を与える親とな
らねばならない。さらに、家
庭教育充実のための三原則」
を述べられ、婦人会代表の古
野光子さんは、「子どもは家
庭を写す鏡であり、親の姿勢
が大切である。また、子育て
における父親の存在は大き
く、母親の気づかい一つで父
親像がきまるのでは。また、
小さい時から子どもの話を真
剣に聞いてやるのが大切で
ある。」等意見を述べられま



すばらしい意見発表でした

した。



「ほっかむりひょう六」の1シーン

その後、小・中学校代表九
名によって人権標語の発表が
ありましたが、いずれの標語
も、大人の心を打つすばらし
い標語でした。

今年度は、人権人形芝居
「ぶか」(高橋清ご夫妻)をお
招きいたしました。演目は
「ほっかむりひょう六」で、
鬼のひょう六が、友だちの母
親の病気をなおすため、たっ
た一本の角を切つて与えるこ
うストーリーでしたが、高
橋氏ご夫妻の迫真の演技に、
小学生から一般参加者の全て
が、或いは笑い、或いは涙を
浮かべて、友情そして思いや
りの大切さを学びました。

秋空のもと北平分館連覇!!

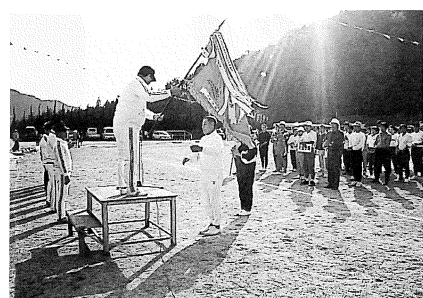
十月十日(木)、午前九時より
河辺中学校グラウンドに於て、
第三十二回村民運動会が開催
されました。当日は前々日ま
での雨がうそのような絶好の
運動会日和となり、農繁時期
ではありましたが、大勢の人
の参加がありました。開会式
では、加茂副運営委員長の開
会宣言のあと、年間最多勝利
賞の授与が植松分館にあり、
大野大会長のあいさつ、続け
て田中議長より温かい激励の
ことばがありました。

選手宣誓では、昨年度優勝
の北平分館、山本五月也選手
の力強い宣誓があり、大会が
開始されました。

競技種目では、運営委員会
等で協議された新規種目が多



がんばれ! がんばれ!

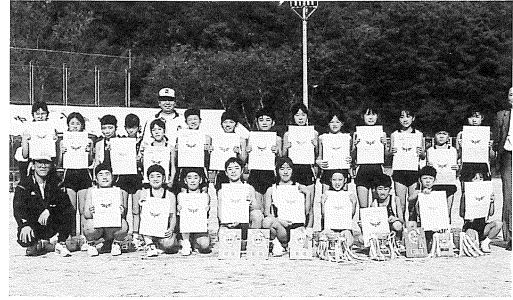


おめでとうございます

く採り入れられ、今までの大
会と違つたおもしろい大会と
なりました。行き先わからん
クリーン大作戦と次から次へ
と出る新種目で途中アクシデ
ントもありましたが、白熱し
た内容となり最後までどの分
館が優勝するかわからない実
にワクワクした大会でありま
した。また、河辺音頭では十
八団体二七八人の参加があ
り、今までの大会で最高のお
どり連のおどりとなり、かわ
い幼稚園児のかけ声がとて
も印象に残りました。

変化のあった大会の結果
は、北平分館の二連覇で閉会
しました。選手の皆さんおつ
かれ様でした。

陸上 優勝八競技



手に入れた賞状ずらっと

河小

十月九日、前日までの雨が嘘のようにさわやかな青空のもと川上地区陸上競技大会が行われました。

選手壮行会では、選手一人ひとりが自分の目標や決意、「練習のときより良い記録を出してきます」「全力で頑張つてきます」等を堂々と力強く発表しました。

河辺小学校の代表として自信を持つこと、予選よりも決勝の方が記録がよくなるように体調を整えることの二点を激励の言葉にしました。

当日は、各自の持てるもの

新人戦を終えて

河中

去る十月三日、四日の両日郡新人戦が行われました。結果は次の通りです。

バレー

予選リーグ 一勝一敗

河辺2-0内子

河辺0-2肱川

野球

一回戦 河辺1-0内子

準決勝 河辺2-1肱川

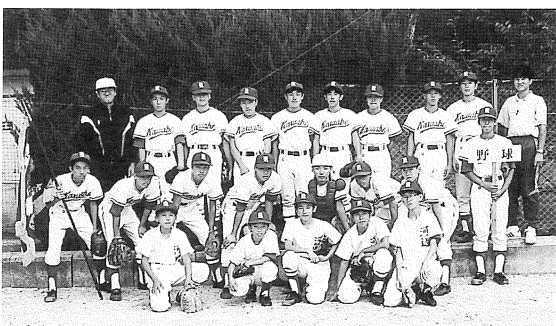
決勝 河辺0-1長浜

バレー部、野球部とも少ない人数で一生懸命がんばりました。バレー部は、予選リ

を出し切ってよく頑張りました。予選よりも決勝の方が記録がよかった人が多く、十八種目中優勝八、三位六という素晴らしい成績でした。特に、四〇〇mリレーは男女共に優勝できました。選手の頑張りはもとより、応援している人の声援、態度がよくうれしく思いました。

練習では子どももよく頑張りましたが、路上からの応援、T氏の協力、全職員の指導、応援も大きな力になったものと思います。ありがとうございました。

ります。今後ともよろしくお願ひします。



先輩から先輩へ「まかせてください」

チャリティースポーツで汗!



いい汗が流せました

十月二十六日河辺中学校グランド、体育館を利用して、

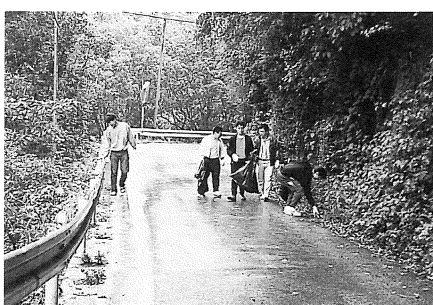
KA I 援隊主催の第二回チャリティースポーツ大会が行われました。今回は、キックベースボール・卓球・バスケット・野球の計五試合を行い、小・中学生、RSB、植松の富永・上野ファミリーが参加していただき、有意義な一日を送ることが出来ました。

今回の参加された方々、応援で協力いただいた方々ありがとうございました。

やめようポイ捨て

十月十三日(日)午後一時三十分より、青年会議の会員十二名で村内県道沿いの空き缶拾いを実施しました。空き缶拾いは、今年六月の青年の家周辺の草かりに続いて二回目の奉仕作業でした。川崎方面、北平方面二班に分けての空き缶拾いでは、道路の改良に伴い数年前に比べ減ってはいるもののゴミ袋十袋にものほり、未だにポイ捨ての多さにびびりました。当日は、あいにくの天気

で雨に降られて、作業が思うように進みませんでした。しかし、参加した皆さんは、雨を気にせず、一生懸命に作業を行いました。作業終了後、雨は止み、気温も上昇しました。作業中、参加者の中には、空き缶拾いの大切さを語り、ポイ捨ての禁止を呼びかけました。また、作業終了後、参加者は、作業場所を清掃し、ゴミ袋を回収しました。作業終了後、参加者は、作業場所を清掃し、ゴミ袋を回収しました。



ここにもあるぞ!

福祉対策について

一、在宅寝たきり老人等介護手当支給事業について

この事業は在宅寝たきり老人、重度の痴呆性老人及び寝たきり重度心身障害者を抱える介護者に対し介護手当を支給することにより、その労をねぎらうとともに積極的に支援を行い、広く村民の高齢者等に対する関心と理解を深め福祉の向上に資することを目的に実施しています。

対象者は本村に住所を有する者、または、村内で寝たきり老人等と同居している人で、六ヶ月以上寝たきりであること、若しくは六ヶ月以上寝たきりになると見込まれる満六十五歳以上の在宅寝たきり老人または重度の痴呆性老人、若しくは寝たきりの重度心身障害者に対して月額一万円を支給する。支給回数は年二回とし、十月（四月から九月まで）四月（十月から三月まで）とし口座振替となつて

おります。手続きが必要になりますので福祉課までご連絡下さい。

二、出生祝金支給事業

この事業は、河辺村の次代を担う新生児の出生を奨励祝ふすることにより、人口の増加により、活力とうるおいのあるふるさとづくりを推進するため祝金を給付し、新生児の健全な育成に資することを目的に実施しています。

出生祝金を受給できるものは、河辺村民で現に引き続き六ヶ月以上居住し新生児を養育している保護者に対し一子あたり五万円が支給されます。

以上二つの事業を紹介いたします。詳しいことは役場福祉課へ

年金ワンポイント

現役世代にも

年金のよさを

皆さんの身近に、国民年金や厚生年金などの公約年金を受け取っている方がいるので

よう。高齢や障害のために働けなくなったり、一家の働き手が死亡して生活に困った時に公的年金が支給されます。

しかし、このような老齢年金、障害年金および遺族年金は、公的年金制度に加入していなければ支給されません。

そこで、二十歳になった方々は国民年金などの公的年金に加入する義務があり、公的年金制度は『世代と世代の支え合い』を基本理念として成り立っているのです。

しかしながら、若い人にとって公約年金はまだ先の話、自分には関係ないと思いがちです。公的年金は年金支給以外にも低料金で利用できる保険所・宿泊施設あるいは病院なども設置されていて、若い人達にも利用されています。年金積立金の一部は年金住宅融資として住宅資金に、又教育資金に貸し付けられたり、老人ホームや廃棄物処理施設など国民福祉の向上に役立つ施設の整備にも利用されているのです。このように、身近なものとして皆さんの毎日の暮らしに役立っているのです。

河辺村。地上の何処よりも心魅かれる場所です。

それは、美しく清らかな大自然への郷愁もさることながら、ある意味で、人生を支配する基盤となる体験をした幼き日々を過ぎた所だからでしょう。

うか。ヒトは胎内で何億年も人類の進化の歴史をなぞります。それに似て一生の内、時が最も濃密に流れた日々だったのかもしれない。

春夏秋冬。駆け巡った山川。母、祖母、叔父叔母、大伯父、先生方、近隣の方々、そして沢山の友との関わり。様々な想い出が、光と色、音と匂い、感触さえも伴って溢れるようによみがえってきます。

学生時代、時々帰省しましたが、その度に大切なふるさとが少しづつ寂れて行くようで、気懸りでありませんでした。どうすれば皆で、経済的にも安定した心

豊かな生活ができるのかと、思い案じておりました。

今は亡き叔父に、生意気にも進言したことを思い出します。雑草を食べてくれる山羊を飼って、土を肥やし、野菜を自給自足し、椎茸を村の産物として都会に売ってはおか、

蛋白源として大豆を栽培し、玄米食を広めてはどうかと話したものでした。今、上流の雑木林と下流の魚は密接な関係があると言われています。ある所では漁師さんが源流の植樹に参加されたとか。河辺村も

ふるさとに望む

和歌山県田辺市

吉川 裕子

(旧姓 岩井)

(川崎出身)



はどのようにしようか。又、都会に住む出身者に費用を募つての館報送付、ふるさと産物宅配便等で響動してはいかゞでしょう。私共はどうか故郷が活々と輝き、常に安らぎに満ちた場でありませうにと、いつも祈っております。

診療所だより

☆かぜについて

時節柄、診療所を受診される患者さんで「かぜをひいた」といわれて、診察室に入ってかられる方の割合が徐々に多くなってきました。よく診療所に「かぜをひいたので、かぜ薬をおくれや。」と窓口や電話で頼まれる方がいます。これが結構、処方する医師にとっては困惑することなのです。というのは、「かぜ」と一口に言っても症状はさまざま、鼻水、鼻づまり、咳痰、発熱などいろいろあります。そして「かぜ」のウイルスというのは、わかっているのですが、そのウイルスそのものを殺す薬というのは実は現代医学においても存在していないのです。「えっ、うそでしょ！」なんて思っている方も多いと思いますが、事実なんです。「かぜ」の治療は対症療法（症状に合わせた治療）になります。総合感冒薬に去痰剤、鎮咳剤

などを適宜追加して投与することとなりますが、それよりも何よりも、「かぜ」を治す最善手は、しっかり食事を取って、体力をつけることです。体の中で、「かぜ」のウイルスとたたかっているのはリンパ球ですから、その能力を高めるためには栄養を取ることが一番なのです。発熱というのは「かぜ」のウイルスとリンパ球がたたかっている生体防御反応ですから、ある意味では正常なことではあるのです。小さなお子さんをお持ちの方は結構、発熱に対して過剰な反応を示しがちですが、機嫌が悪くない限り、三十八度を越えなければ、それほど心配しなくてもよい場合がほとんどです。発熱よりは、症状が長びく場合の方が、ただの「かぜ」だったのが、気管支炎や肺炎に進展してしまっていたりすることがよくあります。そうなることがないように、予防的に抗生物質を内服してもらおうようにしていますが、七、十日間連続して服用して、症状が軽快しない場合は、もう一度、病院を受診

して、胸部レントゲン写真を撮ってもらう方が無難です。日常診療に携わっていて、本当のかぜの治療薬ができたなら、どんなに楽だろうかと思うことはよくあります。

これだけ書けば、窓口や電話で「かぜ薬をおくれ」という方がいなくなるでしょう・・・かどうかはわかりませんが、先日、テレビや新聞で、市販の総合感冒薬で、誤って服用すると多大な副作用を引き起こすとの報道があったばかりです。薬も誤った服用をするとは立派な劇物となります。自分の体のことですから、早く治したい気持ちもあるでしょうが、それであれば書かれている通り、言われている通りに服用することが第一だと思います。その前に、「かぜ」をひいたと思ったら、薬がほしいという前に必ず診察を受けるようにしましょう。それが基本です。置き薬のかぜ薬を持って帰るといのはどう考えても間違っていると思います。それよりもまず「かぜ」をひかないようにして下さい。

参加者募集!

チョコあげますか? ゴメンサイしますか?

八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合では、青年男女交流機会を提供し、都市と農村の交流及び異業種間交流など広域的な交流を目的に「バレンタイン ハーモニー ツアー」を企画しました。

ホテル「ルネッサンス湯布院」で、スポーツあり、バーベキューあり、ゲームありの盛り沢山のアトラクションを用意しました。

- 日程 平成9年2月8日(土)~2月9日(日)
- 目的地 大分県 湯布院・塚原高原
- 募集人員 20才以上の独身男女各40名
- 参加費 男性8,000円 女性5,000円
- 締切日 平成9年1月10日(金) 必着
- 申込方法 ハガキに住所、氏名、生年月日、電話番号、職業、自己PRを明記のうえ下記まで申し込み下さい。
- 申込先・お問合せ 〒795 大洲市大洲690-1 大洲市役所内
八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合
八幡浜・大洲地方拠点都市対策室
「バレンタイン ハーモニー ツアー」係
☎0893-24-0560

大ウナギ現わる



どうですこの大きさ

捕獲者

花岡利光氏、花岡努氏、花岡森男氏、花岡示光氏

捕獲場所

河辺村大字三嶋 秋滝竜王の滝

ウナギ

体長 九九センチメートル
胴回 二三センチメートル
重さ 二キロ百グラム

捕獲状況

十一月四日秋滝竜王神社の新築工事のため、竜王の滝を清掃中に発見、竜王神社の守り神様ではないだろうかとの、評定の後滝壺に返した。十一月十日に再度出て来たので捕獲、興味のある人々に見ていただいていたと、秋滝竜王神社で飼っていたが、滝の整備が出来た十七日、もとに戻した。

防災だより

火災の発生しやすい時期となりました。火気の取扱いは大丈夫ですか。日頃使い慣れているからと、火気の取扱いの基本を怠ってはいませんか。火気器具の取扱い、火気の後始末など今一度確認し火災の発生を防止しましょう。また住宅火災による死亡のうち高齢者層や身体不自由者の比率が高い割合を占めております。万一の時に備えて、避難経路、避難方法など対策を立てておきましょう。

- 一、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
 - 二、寝たばこやたばこの投捨てをしない。
 - 三、天ぶらを揚げる時は、その場を離れない。
 - 四、風の強い時は、たき火をしない。
 - 五、子供には、マッチやライターで遊ばせない。
 - 六、電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
 - 七、ストーブには、燃えやすいものを近づけない。
- を心がけ、火災の発生を防止し死傷事故、財産の損失を無くしましょう。
- 「消火器回転しております必要の方は、総務課まで」

みなさんごきげんよう

※河辺郵便局



郵政事務官
富永 光一
出身地 植松



郵政事務官
兵頭 宏次
出身地 岡山県

海外旅行のみなさんへ

帰国後のお願い

帰国後、下痢や嘔吐又は発熱や発しん等の症状があったときは、最寄りの保健所又は医療機関で海外旅行をしたことを告げ、診療を受けるようにしましょう。

また一定期間を過ぎてから様々な症状が現れ、気づかないうちに家族や周りの人たちに感染させている場合も考えられます。どうか、自分の健康状態を正確に申し出る等、責任をもって対処して下さい。

同和教育シリーズ

(60)

「基本法の三つの根拠」

前号で、「基本法」が国のいかなる時に制定される法律であるか述べましたが、日本国憲法と「同対審」答申の基本精神を踏まえるならば、部落問題についても当然、同和問題基本法の制定が求められてくるといえます。

第三番目の根拠は、国際人権規約や人種差別撤廃条約に代表される、差別撤廃と人権確立を求めた国際社会に学ぶ

ことにあります。国際人権規約は、「人権に関する世界の憲法」とも呼ばれている重要な条約ですが、日本はこの条約に一九七九年に批准し、発効しております。従って国際人権規約は、憲法とともに、日本国内において、最も重要な位置を占める国内法となっており、履行と具体化が求められています。

ところで、この国際人権規約も、差別的撤廃を最重要課題として位置づけています。たとえば、市民的および政治的な権利に関する国際規約

短

歌

栗山に残暑きびしく汗拭う

急なる斜面の栗拾いつつ

塩鯖の旨きところを兎らに与え

頭のみ喰いしわれ戦後を思つ

西国を詣でる夢を果たし得て

心満ちたり喜寿の年に

紅葉の山になびける湯煙を

しばし見飽かず草津湯宿に

酷寒の彼の地に在りし三年越し

又思い出しぬ孤児等来たれば

やわらかき秋陽に映えてさわさわと

熟れ葉かそけく散りゆく夕べ

上林ヨシ子

戸田 薫明

清水 孝

清水 菊江

佐伯 範男

谷本 愛子

消息

自 8・9・11
至 8・11・10

☆お誕生おめでとう

奥平 ちひろ

父 秀樹
母 美香江

☆おくやみ申し上げます

山本 榮(横山) 68歳
宮岡ミドリ(上大成) 84歳

(自由権規約)の第二条では、

「この規約の各締約国は、その領域内にあり、かつ、その管轄の下にあるすべての個人に対し、人権、皮膚の色、性、言語、宗教、政治的意見その他の意見、国民的若しくは社会的出身、財産、出生又は他の地位等によるいかなる差別もなしにこの規約において認められる権利を尊重し及び確保することを約束する」と定められています。今回は第二六号を紹介します。

(河辺村同和教育協議会)